

# たぐすい

TAKUSUI

1

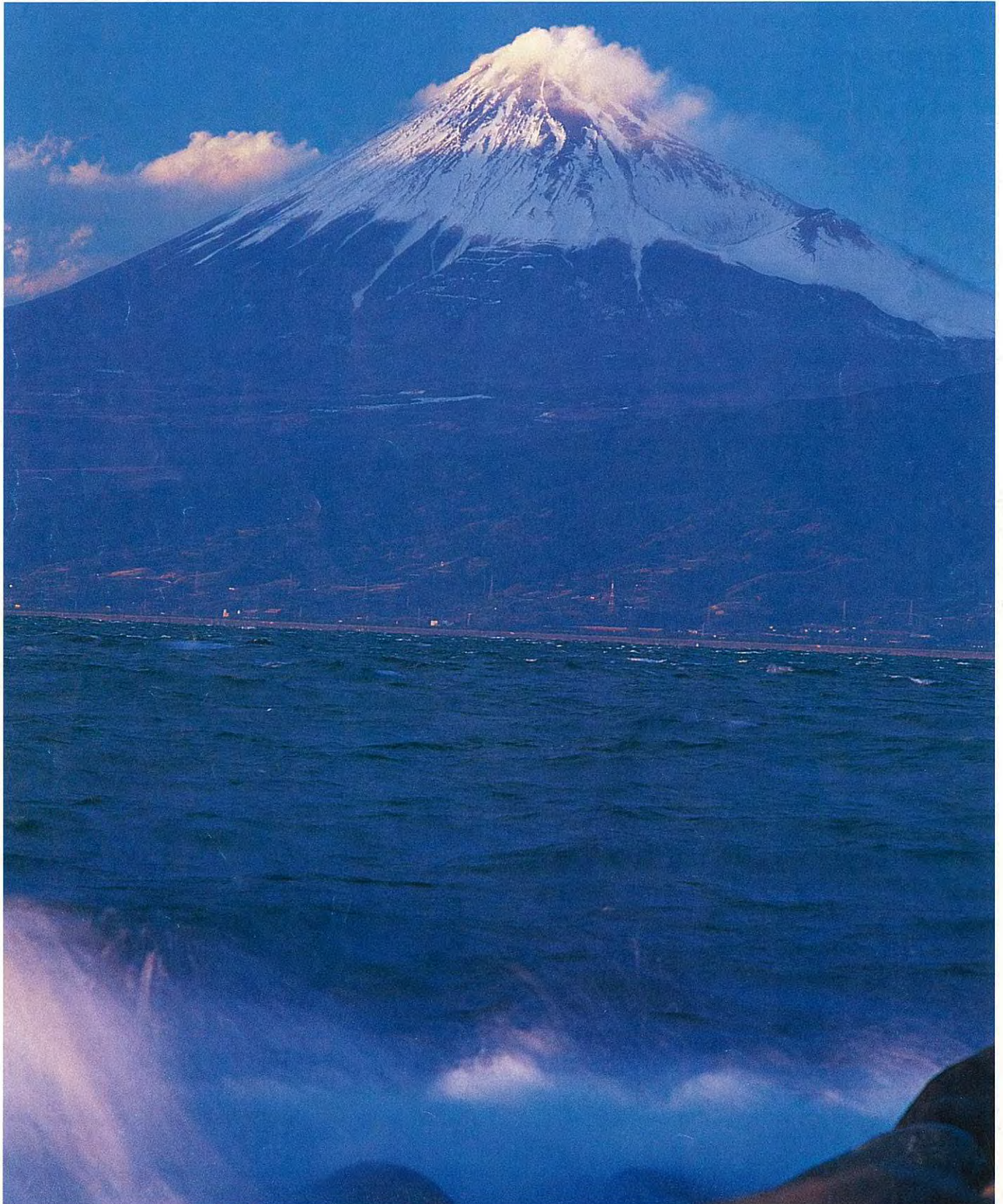
2003年 January

No.555

Report+ レポートプラス 今こそ漁協の組織強化を!

ourhour フリースペース 77077 <JF兵庫信漁連> 「改正再編強化法」施行

水産会館 ウチの漁業 水産会館に集う人々





# CONTENTS

- 2 旬に想う  
羊のはなし  
ほっとするフォトセラピー  
21世紀に残したい日本の風景ナンバー1は富士山
- 3 新年のご挨拶
- 7 Report+  
今こそ漁協の組織強化を!
- 8 フリースペース our hour  
「改正再編強化法」施行
- 9 TOPICS  
行事報告・行事予定  
こちら海です
- 10 TOPICS  
坂越、赤穂、福浦の三JFが合併仮契約書調印  
兵庫JCC通信
- 11 ホントに知ってる?こっそり覚えよう! 兵庫のさかな  
タイ  
神戸市立水産体験学習館紹介
- 12 ウチの水産会館  
水産会館に集う人々

ヒロ旗谷のPHOTO ESSAY

## ほっとするフォトセラピー

今月の表紙：21世紀に残したい日本の風景  
ナンバー1は富士山(西伊豆・大瀬崎にて)

“ほっとするフォトセラピー”シリーズの幕開けは、太平洋からみた富士山です。世界に名の知れた富士山は、日本を象徴する山で、どの角度からみても実に美しい雄姿をしています。

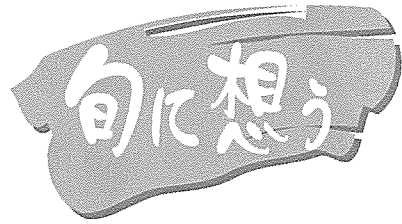
NHKの調査で、21世紀に残したい日本の風景、“ナンバー1”でした。新幹線に乗っても、「今日は富士山が見えた」と言って、何か得をした気分になるものです。車窓からみる富士山は、映像の早送りのように、左右に飛び去っていきますが、じっくり風景としてながめる富士山は、また格別です。とりわけ雪をたっぷり冠り、雲の動きがあって、前景に自然を象徴するようなものがあると、情感がわき上がります。

太平洋の波しぶきの音を耳に、富士山の頂上付近を遠望していると、時間の経つのも忘れてしまうそうです。

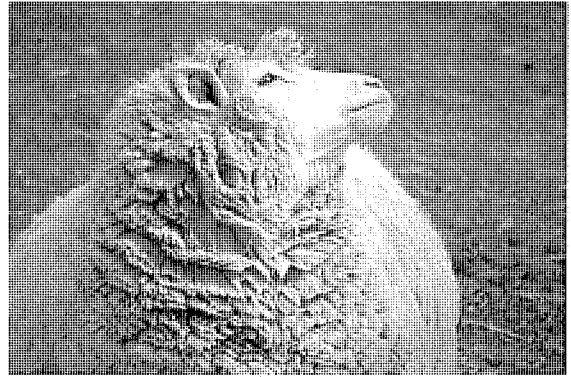
“ほっとする写真”シリーズは、私の写真家人生の大切なテーマのひとつです。マイナスイオンの発散する写真を場所にとらわれず、四季にわたって毎月みていただければ幸いです。

※ヒロ旗谷

神戸新聞社・大日本印刷(株)・(株)DNP映像センターを経て、ヒロ・ハタニ映像オフィス主宰/毎年個展を開催



写真と文 遊方子



## 羊のはなし

◆平成十五年の干支は、癸未で《ヒツジ》には漢字の《未》が当てられている。その由来に深い意味合いは無いらしく、中国本土で言う《未》の語音が、羊の鳴き声に似ていた所からの連想であるようだ。字の形もヒツジとは関係なく、木の高い所に果実の残る様子を示している。そこから「まだ取っていないりまだ」という意が生まれた。漢字の《羊》は、ヒツジの体形を象り、角と四足と尾を表現している。昔、羊肉の吸い物を羊羹と言ったそうだが、今、その煮凝りが似ているという和菓子指して《羊羹》と呼んでいる。言葉の語源とは、実にユニークで、へえーと思うものが多い。

◆羊が家畜として飼われ始めたのは、紀元前六千年といふ。羊肉はマトンと呼ばれジンギスカン料理で有名だが、その毛は温かく人を包んで寒さから守ってくれる。草食性で雑食に耐え、とても柔順な反芻動物であり、腸の長いことでも知られている。「箱根の山は天下の険」と唄う《箱根八里》の一節に「昼なお暗き杉の並木、羊腸の小径は苔滑らか」と、道の屈曲するサマを羊の腸に例えている。難解な漢語ばかりで、何処かの地名かと思いつながら歌った記憶がある。実際に腸は体長の二十倍という長大なものであり、ウインナーソーセージの皮として利用されている。

◆羊に関する諺や成句を思い出しているが、それほど多くはないようだ。学問の道は多岐に亘り、極めることの困難を《亡羊の歌》という。また、四字熟語で《亡羊補牢》というのは、過ちを仕でかしてから悔い改めることである。《羊頭狗肉》とは、看板に羊肉を掲げ犬の肉を売るという、立派に見せかけ悪事を働くことだ。漢の時代には「牛頭を門に懸げ、馬肉を内に売る」と言ったが、漢以降に羊肉の存在を知ってから、牛が羊に馬が犬に変わったそうである。犬肉を最下等な食用肉としていたらしいが、狗とは若い犬をいう。

◆聖書には、羊にまつわる比喩がよく登場するが、我が国にキリスト教が深く浸透し難いのは、羊が家畜として馴染み薄いことと関連がありそうに思う。日本に《羊》は不似合いなのである。北海道は別として、国土が狭くて湿気が多すぎる。羊は、もつと広く乾燥した場所がいい。そして、背景には赤いトンガリ屋根がよく似合う。そんな風景は、日本画の題材には成り難い。《美》という字は、羊と大から成っており、造字段階で《美》という字とした羊のイメージがあるが、日本人の《美》意識には、ほっそり面長・柳腰という感覚があったように思う。通常はあまり見る機会もない羊だが、三月半ば、六甲山牧場に行けば、生れて間も無い可憐な《子羊》に出会える。

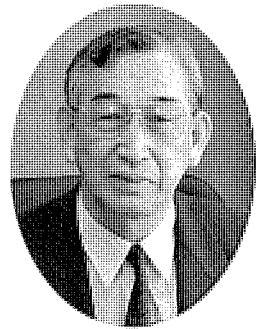
# 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。平成十五年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、我が国は経済のグローバル化による規制緩和・自由化が進み、競争と淘汰の時代に入っており、さまざまな分野で否応なしに構造改革が推し進められております。また、内閣府の月例経済報告によると、景気の見通しは、アメリカ経済等への先行き懸念や我が国の株価の低迷など環境は厳しさを増しており、我が国の最終需要が下押しされる懸念が強まっているとされており、景気の低迷はさらに長引くことが予想されております。

一方、水産業界においては、資源状況や漁場環境の悪化による生産の減少に加え、産地魚価の長期低迷から、漁家の経営は極めて困難な状況に立たされており、組合員は資源の回復や産地魚価の低迷脱却の実現等を強く求めています。こうした負託に応え力を発揮していくべきJF（漁協）が、自らも経営問題を抱え、今後の経営についても確かな見通しが持てない状況にあります。

こうしたことから、昨年に成立した水産基本法に基づき、昨年の三月には、①安全で安心な水産物の供給体制の構築、②水産業の構造改革（資源の回復、漁業経営体質の強化等）、③都市と漁村の共生・対流による地域の活性化等を柱とした水産基本



## 組合員の負託に応え 漁協の基盤強化を

兵庫県漁業協同組合連合会

代表理事会長 小川 守男

計画が閣議決定され、JFグループの再編が急務となっております。また、その実現に向け、十一月には全国漁協代表者集会在開催されJFグループの事業・組織・経営改革に向けた運動方針を採択し、本年はこの運動方針を実践していく初年度の年に当たっております。

このような状況の中で、本県においても漁協の合併推進に地道な取り組みを進め、昨年六月JF姫路市中部の誕生、十二月には赤穂市3漁協が合併仮契約書調印式をおこない、また、北淡町4漁協、但馬5漁協においては推進協議会や研究会を立ち上げるなど、合併に向けた気運の盛り上がりを感じられるところであり、しかし、社会経済の急激な変化や国の動き、全国漁協組織の動向などをふまえ、また、兵庫の漁業の将来を展望したとき、組合員の負託に応え漁業社会の中核としての役割を果たしていくべき漁協のあるべき姿に思いをはせるとき、本県漁協組織は、歴史や伝統文化に意を注ぎつつも、経済事業団体としての基盤を強固にしていくなめには、大規模な組織の再編・再構築が必要であろうという思いを強くいたしました。

そこで、組織の活性化、基盤強化に向けて議論を重ねながら、将来にわたって健全で安定した漁協組織を確立するとともに、組合員の期待と信頼に応えることのできる協同体、地域や社会に存在感のある漁業体づくりをめざして、将来には県域一段階を視

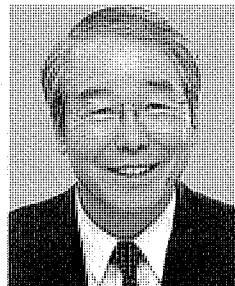
野に据えた中で、組合員をはじめすべての漁協関係者のご理解と推進協力を得て、1県2漁協の早期実現に向けて取り組んでいく所存であります。

いま、漁業経営ならびに漁協経営は未曾有の危機にさらされており、もう躊躇している時間はありません。いろんな意見や考え方はあろうと思いますが、明るい未来が待ち受けていることを確信するとともに

生産者の不安を早急に解消できるよう、一時も早く大同団結して自立漁協に向けた合併推進を、JFグループ全体が一丸となって本気で取り組んでいこうではありませんか。

最後になりましたが、会員各位並びに県ご当局・水産系統団体のますますのご繁栄と皆様方のご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 兵庫を新しいふるさとに



兵庫県知事 井戸 敏三

そうした「私感覚」ともいふべきものに根ざした、それぞれの思いが共感しあつて生まれてくるもの。それこそ、私がめざす新しいふるさとにはかなりません。

ふるさとは人々の安全と安心を支えてくれます。高齢者の元気や子供たちの大きな志、社会の活力を育みます。ふるさとは、多彩な交流を通じた自然や人、社会との共生、そして参画と協働で培い、創り上げていく私たち一人ひとりの心の拠り所です。

そこに暮らす人々の生活が豊かで充実し、そこに住んでいくことがうれしくなる、そのようなふるさと、美しい兵庫づくり。

新しい年を迎え、私は、皆さんと共に、兵庫の未来を力強く拓いていきたい、この思いを新たにしています。

新年あけましておめでとうございます。

昨年、求められて「私の好きな兵庫・ベスト三」を選びました。

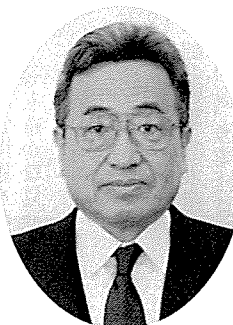
まず、少年の日を過ごした新宮を流れる清流揖保川の鮎。

自然の営みに感動した氷ノ山のブナ林。

そして、五度目の完走を果たしたばかりの六甲山の縦走。

皆さんも、兵庫の素晴らしい自然、多様な文化、多彩な地域を思い、浮かべながら、「私のベスト三」を選んでみられたいかががでしょうか。

# 年頭のご挨拶



兵庫県信用漁業協同組合連合会  
代表理事会長

吉野 生 壯

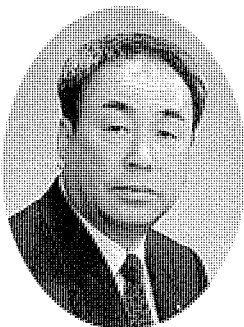
新年明けましておめでとうございます。  
昨年、私も系統金融も含めた国内全体の金融システムにおいて、『定期性貯金に対するペイオフの解禁』という大きな出来事がありました。大口預金者のペイオフに対する不安から、預け先の分散等による貯金の流出を懸念致しておりましたが、各店舗とも大きな貯金高の減少は無く、貯金者である会員・系統関係団体及び組合員を中心とした地域の皆様から信頼をいただいていることの証と、感謝致すとともにその責任の重さを痛感致す次第です。  
さて、普通貯金等決済性貯金も含めたペイオフの完全解禁は、一部金融機関の信頼性に対する態勢整備の遅れによる金融システムの混乱が危惧されることから、二〇〇三年四月から二〇〇五年四月に再度延長されましたが、漁業系統金融態勢はさらなる信頼度のアップを目指し、皆様の負託にお応えする取組に着手します。具体的には、本年一月に施行される「改正再編強化法（農林中央金庫及び特定農水産協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律）」に基づいて「JFマリンバンク基本方針」の制定と「JFマリンバンク県本部」の設置を行い、本会経営のさらなる強化と統合の遅れている漁協に対する指導の徹底による「

県信用事業責任体制」を確立し、他の金融機関組織には無い、漁業者等のための強い信頼体制を構築致します。

本会の経営につきましては、県下の店舗網を摂播・淡路・但馬の三地区にそれぞれ集約し、統括支店を中心とした業務態勢を整える事により、合理化による経費の削減をおこなうとともに、業務の専門性と効率性を高めることによるサービスの向上をめざします。また、金融機関の健全性を示す基準となる自己資本比率については、系統の自主ルールで示す「8%以上」は既に達成しています。が、今後の金融情勢等をにらみ、自己資本の増強による10%を目標とした取組に着手します。この取組におきましては、会員各位の支援と協力が不可欠であり、組合経営が厳しい中であつてご無理を申し上げる事ともありませんが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

金融機関の経営は、運用利ざやの極端な低下により利益が大幅に減少する一方、金融検査に対応するための人員・店舗整備の整備にも必要となる経費は年々増大し、今後においても極めて厳しいものと予測されますが、「浜の暮らし、浜の金融」を受け持つ唯の金融機関の誇りと責任を持って、役職員一同努力致します。事をお約束し、新春のご挨拶と致します。

# 年頭のご挨拶



兵庫県漁業共済組合  
組合長理事

吉岡 修 一

新年明けましておめでとうございます。  
平成十五年の年頭に当たり謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、経済状況が低迷する中で二〇〇四年度までに不良債権問題の終結を目指すことなどを柱とした総合デフレ対策が打ち出されましたが、その後、東京株式市場の株価が終値ベースでバブル崩壊後の最安値を記録するなど依然として不透明な状況が続いております。

水産関係におきましても、このような経済状況を反映して魚価の低迷が引続き、加えて資源の減少や災害の発生等極めて困難な状況に直面しており、漁業経営を圧迫しております。

このような漁業環境の中、「ぎよさい」制度は災害対策及び漁業経営安定対策として実施されており、漁業経営の維持安定に貢献できているものと考えますが、加入状況は未だ十分なものと云えず、より一層の加入拡大を図ることが当組合の重要な課題となっております。

昨年、水産基本法に基づいて漁業災害補償法の改正が行われ、漁業者にとって加入しやすしい「ぎよさい」制度が十月一日より実施されました。

また、この制度改正を機により一層の加入拡大を図りたいとして、同年四月より四ヶ年の全国運動である「新ぎよさい総加入運動21」を展開いたしております。

本県におきましては、この全国運動の最終年（平成十七年度）の目標額を二百一億九千万円（共済金額ベース）としており、平成十三年度実績に約二十八億円（百十五%）の上積みを行って設定しておりますが、この目標額を達成するためには、県及び系統各団体の強力なご支援なくして達成困難として、昨年には県、JF兵庫漁連、JF兵庫信漁連、水産振興基金及びJFグループひょうご企画調整室の参加を得て「新ぎよさい総加入運動21」兵庫県推進協議会を立ち

上げました。この推進協議会におきましては、特に本県瀬戸内海側の基幹漁業であるのり養殖業の普及拡大に向けた問題点の整理及び加入推進方策等についてご協議いただき、併せて各方面への働きかけを行っていただいた結果、平成十四年度のり漁期における特定のり養殖共済に、未加入十漁協の新規加入が実現いたしました。

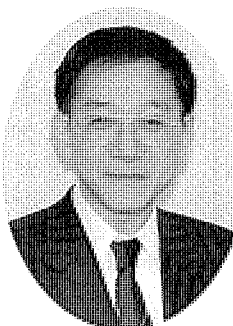
ご支援ご協力いただきました関係各位に對しまして役職員一同心より厚くお礼申し上げます。

しかしながら、特定のり養殖共済には未加入の漁協がまだ残っていること、瀬戸内海地区における、底曳網漁業や船曳網漁業の加入率は依然として低水準であること等を考慮すると、不慮の災害に備えて十分な対応ができていないとまだまだ言い難いというのが現状であります。

今こそ「ぎよさい」が漁業経営の後ろ盾として新たな時代の漁業と漁村づくりにますますの貢献ができますよう、役職員一丸となつて加入拡大に努力していく所存であり、ますので、ご支援ご協力頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本県水産業の更なる発展と皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

# 新しい年を迎えて



兵庫県農林水産部  
農林水産局水産課長

楠本 正 博

# 新年のご挨拶

明けましておめでとございます。皆様には、清々しく新春をお迎えのことからお喜び申し上げます。

新しい年が希望に満ちた年となりますよう心からご祈念申し上げます。

顧みますと、昨年はサッカードカブに一喜優する一方で、牛肉偽装事件や不正表示の問題等、食の安全を揺るがす様々な出来事が続きました。

水産関係に目を向けますと、明るいニュースとしては、漁協合併の動きがあります。内海側では昨年六月に、県内二十一年ぶりの合併により姫路市中部漁協が発足しました。続いて赤穂市内の三漁協が四月一日の合併を予定しておりますし、この他にも各地区で合併に向けた協議が進められています。一方、但馬地域では、但馬二漁協を目指して合併研究会が立ち上がり、市町の枠を越えた広域合併の取り組みが始まるなど、本県もいよいよ本格的な組織再編の時代に入ったと実感しています。

一方、ノリ養殖においては、昨年も漁期途中から広範囲に色落ち現象が発生し、本県ノリ漁場における恒常化がより鮮明になってきました。この色落ち問題については、県漁連、水産技術センターと共に対策の検討に着手しました。四月には、日本海において重油流出事故が発生しましたが、ナホトカ号のような大きな漁業被害に至らなかつたことは幸いでした。そして、八月には漁協の簿外経理が所得隠しとして全国紙に報道され、大きな衝撃を受けました。

さらに、十一月には日本海で米軍による水中爆破訓練が実施されて大きな問題となり、またその直後には県内の沖合底曳船が北朝鮮の貨物船に当て逃げされる事件が起きました。これらはいずれも、新聞テレビで報道され、水産業界にとどまらず、広く社会的な反響を呼び、広範囲な対応を

求められております。今後はこのような問題にも十分に対処できるしつかりした組織づくりが必要となってきます。

そのような中で、合併というすぐぐに漁業権や操業上のことを考えがちですが、今必要なのは経営の合併、つまり陸上(おか)の合併です。陸上の組織や施設を統合し、より効率的な運営を図ることが求められているのです。ですから昨今、全国各地で進められている合併においても、「海のごことは従来どおり」が基本とされています。海の操業ルールは海区漁業調整委員会が漁業者の声を反映した取り決めが行われます。合併すると大きな組合に海をとられてしまふ心配する声もありますが、そのようなことはありません。

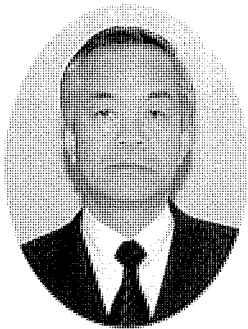
系統内では、将来、但馬二漁協、内海一漁協と、最終的には系統も含めた県内一漁協を目指す計画も協議されております。漁協が漁業・漁村の中核的な組織として資源管理や担い手育成等の役割を發揮するためには、一日も早い組織再編が必要であると考えますので、県もこれを積極的に応援していきたいと考えております。

また、県では水産業を「いのちを支える食糧供給産業」と位置付け、①水産資源の持続的利用体制の確立②担い手づくりの推進と経営基盤の充実③つくり育てる漁業と連携した水産基盤の整備等を柱とした生産振興を進めることとしておりますので、さらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、今年も海の幸に恵まれますことを祈念しまして、新年のご挨拶といたします。



## 新春を迎えて



兵庫県農林水産部  
農林水産局漁港課長

小野 順三

新年明けましておめでとございます。本県水産関係者の皆様方には、ご家族お揃いで清々しい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

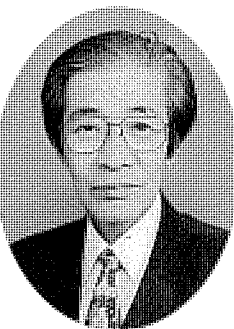
顧みますと、昨年は北朝鮮による拉致問題、未だ是正されない「食の安全・安心」の問題等が社会問題として取り上げられましたが、一方、サッカーの日韓ワールドカップが開催され国中がフィーバー現象に沸いたほか、ノーベル化学賞を受賞された田中耕氏の庶民性に対し全国民が暖かい拍手をおくった年でもありました。

水産関係では長期化する景気の低迷が依然として解消されず、消費者の購買意欲の減退が続く、これに連動して漁業経営にとつても非常に厳しいものがありました。

さて、漁港・漁場・漁村整備の分野では、漁港漁場整備法が本格適用された二年目の年で、長期的な視点に立つ新たな施策として水産基盤整備事業が開始されました。

県におきましては、「ひょうご農林水産ビジョン2010」に基づき、「つくり育てる漁業」と連携した水産基盤の整備、「だれもが安全に暮らせる漁村づくり」、「災害に強い農山漁村づくり」等を主な柱とし、漁港、漁港海岸、漁村生活環境、漁業関連施設等の整備による地域経済・生活基盤づくりを皆様方と

## 年頭を迎えて



兵庫県立農林水産技術総合センター  
水産技術センター所長

眞鍋 武彦

新年明けましておめでとございます。平成十五年の年頭にあたり兵庫県水産業界の皆様は謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年四月、兵庫県下の農林水産関連の六つの試験研究機関は機構再編により、兵庫県立農林水産技術総合センターとして統合発足いたしました。旧水産試験場はその中で水産分野を担う水産技術センターとしてスタートを切りました。内部組織として、但

馬水産技術センターおよび内水面漁業センターを配し、瀬戸内海、日本海そして内水面の試験研究を総合的、多面的に推進できる組織を標榜しております。年目というところもあり、未だすつきりしたシステム作りができていませんが、目的とした異分野との協力体制をうまく利用し、皆様に貢献できる研究開発をめざしてゆきたいと存じます。

昨年早々の漁場環境の悪化は、二年続きで養殖ノリの品質低下現象を生み、今年こそ正念場ともいえるせば詰まった時を迎えております。幸い十四年度から、その対策を目指した『珪藻赤潮被害防止対策事業』がスタートし、従来の概念を超えた大きいプロジェクトとして歩を進めつつあります。ご期待いただきたいと存じます。

兵庫県下の漁獲量は総じて横ばい状態にあります。これは漁業関係者の並々ならぬ努力に負うところが多く、漁業資源そのものは大きく減少していると考えられます。昨年は船曳網漁業の秋シラス漁が久々に豊漁でありましたが、資源量の変化は大きく、その量的把握には困難な点が多いため、まずは的確な資源管理を目的とした研究の推進に努めます。

一方、資源回復の手段としての資源培養も必須の研究であり、ズワイガニやアカガレイをはじめ栽培漁業研究の推進にも拍車をかけたいと存じます。また、ノリやカキに代表される無給餌養殖の研究は環境保全型漁業を推進する上で非常に重要な位置にあり、開発研究に鋭意努めたいと思います。

但馬における底曳漁業資源の減少は大きく、持続的な漁業に警鐘を与えています。底曳網漁業のみならず沿岸漁業の推進、高付加価値化した水産加工品の開発も今後の大きな課題といえます。但馬水産技術センターのここ数年のズワイガニ増殖場造成研究、ソデイカの資源管理手法の研究、水産加工残さのベニズワイガニ漁業用餌料としての利用など、着々と研究成果を上げつつあり

ます。皆様に役立つ成果に発展するものと確信しております。本年も、業界そして行政と手を携え邁進する所存でございます。よろしくお願いいたします。

今後とも水産業界が他分野と協調しつづき発展できますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。

## 年頭のご挨拶



全国漁業協同組合連合会  
代表理事会長

### 植村 正治

新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり、全国の組合員並びにJFグループの皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年はJF全漁連創立五十周年という節目の年に当たり、各県の浜の代表者のご参集をいただき、また中国・韓国の代表者の出席も得て記念式典全国漁協代表者集会等を開催いたしました。式典においては先人の方々の功績に思いを馳せると共に、集会では水産基本法制定という歴史的成果を踏まえて、二十一世紀の漁業・漁村の建設のための指針となるJFグループの事業・組織・経営改革に向けた新たな「運動方針」を決定いたしました。

この方針の下、皆様方と共に、JF改革に不退転の決意を持って取り組んで参る所存であります。

また、記念事業として、消費者に対し健康と長寿に貢献する浜の魚介類を普及・啓

発するため、JF全国おさかなまつりを開催し、十万になんなんとするご来場を頂きました。会員各位のご協力に感謝申し上げますとともに今後とも、安全・安心な水産物を消費者の皆様にお届けするためJFグループの結束をより強固なものにしていきたいと思っております。

水産基本法制定後三年目を迎える現状は、漁獲の減少・魚価の低迷・経営コスト高により大変困難な状況に直面しております。この現状を打開するためには、なんといたっても組織と人がしつかりしていなければなりません。このためには、組織の再編・合併を進め、自立漁協の構築を強固にし、活力ある浜の力を創出していかねばなりません。

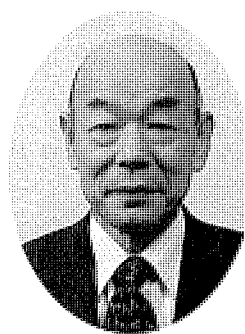
そして何よりもまして重要なことは、わが国沿岸水域の資源の回復とこれを持続的に管理・利用していく対策を確実に実践していかなければなりません。

経済のグローバル化は世界的な水産資源の悪化をもたらしつつあります。豊かな水産資源は、各国の地域における産業と、雇用機会の創出、食料の供給に加え、環境保全・文化の伝承、海難救助等重要な多面的機能を果たしています。そのためには、各国の持続可能な資源を守っていく貿易ルールが確立されなければなりません。

「二十一世紀は漁村の時代」のキーワードとして、漁港・漁場の整備、種苗の開発・育成技術等は我が国が誇る資産であります。その上に立って、国民食料自給率向上と食の安全確保の使命達成のため、漁場・漁村環境保全と交通アクセス等の整備による文化・高度医療施設利用等、都市と漁村の交流を図り、住み良い漁村づくりに皆様とともにまい進したいと思っております。

「資源有限・漁業無限」を掲げ、漁業を生業とし、全国各地で活躍の皆様方のこの一年がよい年でありませうと念願し、海上安全と「層のご繁栄・ご健勝」をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## めざそう！共済自立漁協



全国共済水産業協同組合連合会  
代表理事会長

### 佐々木 護

全国の漁村の皆様、明けましておめでとうございます。

内外情勢が激しく変化するなかで昨年十一月に開かれた全国漁協代表者集会では新しい運動方針が打ち出され、JFグループが事業・組織・経営改革に取り組み決意を新たにいたしました。まことに心強いกำลังใจであります。

この中で、浜の暮らしを支える「JF共済事業」については、①自立漁協の事業の柱として確立、②自立漁協構築時に「共済部」等の専門部署を設置、③自立漁協と共水連の業務分担の見直し、を重点事項に事業改革を計画的に推進していくこととなりました。

これに次ぐべく平成十四年度は「RESTART-JF共済三か年計画」を出発させ、いま初年度の仕上げと、その成果を踏まえて第二年度へ引き継ぐという区切りの時期を迎えております。このような新三か年計画の実現のための「めざそう！共済自立化運動」の全国的な展開にあたっては、引き続き、推進本部を軸とする漁協活動と援護役のJF共水連本所・事務所の緊密な連携のもと、いつそこの運動の強化によって所期の目標達成を期さなければならぬと念じます。

「頼りになる、力になる、もっと強く逞しく」を実践運動の合言葉に全国の漁協の皆様とともに真に役立つ「JF共済」の確立をめざし、本年も力強く前進してまいりたいと存じます。



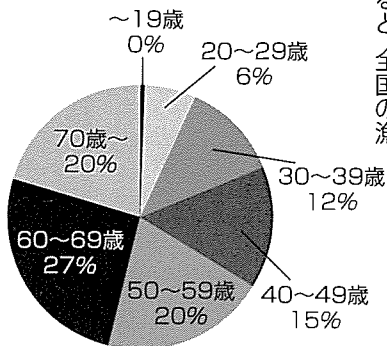
# 今こそ漁協の組織強化を！

全国的に漁協合併が活発化してきている。特に、昭和六十三年に漁協合併助成法の第四次延長が行われて以来、全国で数多くの合併が行われるようになった。近年は、大分県や秋田県のような県漁協、JF志摩の国に代表される数千人規模の組合員数となる大型合併が相次いでいる。

本県でも合併は積極的に推進されてきた。昭和二十七年のJF炬口の合併から昭和五十六年のJF淡路町の合併まで、延べ四十五組合の参加による十七件の合併が行われた。JF淡路町の合併以降、二十年間合併は行われなかったが、平成十四年六月、姫路市内の三組合（妻鹿、阿成・広畑）が二十一年ぶりに合併し、また、赤穂市内の三組合（坂越、赤穂、福浦）が十二月に合併仮契約を締結し、平成十五年四月の合併に向けて大きく前進した。

ところで、漁協の状況を見てみると、全国の漁業就業者数は平成二十一年に二十一・二万人であったものが、平成二十四年には十・七万人程度になると国は予想している。

◆正組合員の年齢構成◆  
(H13事業年度末現在)



本県においても組合員の高齢化と減少は進んでおり、平成二年度

に八千三百九名であった正組合員数が平成十三年度には六千九百七名に減少している。また、六十歳以上の正組合員が四十七%を占める一方、四十才未満の正組合員が十八%しかない。十年後には正組合員数が四千五百名程度に減少している可能性もあり、組織力の低下が懸念される。

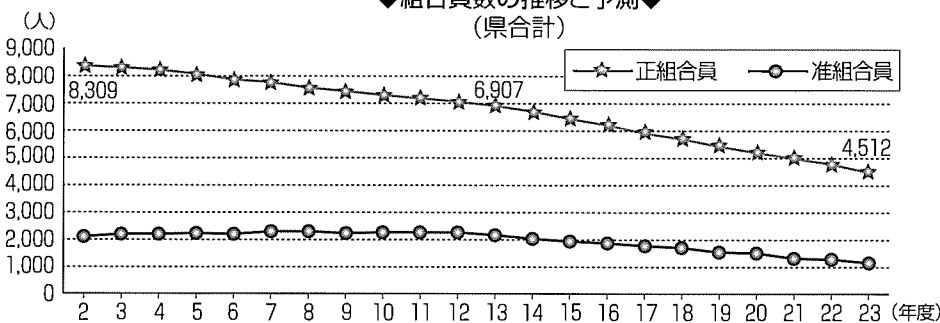
経済事業の中心である販売事業の取扱高もこの十年間で百二十億円減少している。今後、組合員の減少に伴う取扱高の減少も想定され、個々の漁協においては、収支は相当厳しいものになっていく。「今は大丈夫」な漁協も、遅かれ早かれ組織基盤の弱体化の恐れがある。

また、取扱高の少ない市場には仲買人も集まりにくい。産地魚価の低迷も続いているが、漁業者・漁協による鮮度保持、選別の厳格化や零細・分散型の市場形態から拠点となる市場を育成する必要がある。

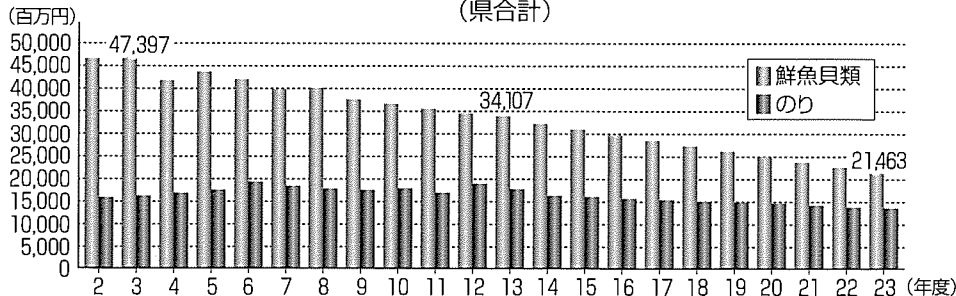
このような状況を踏まえ、今後、漁協はどのような取り組みをしなければならないのか。地域の思惑や感情に流されて、何も手を施さないで放置してはいけけない。全ての漁協が知恵と力を合わせ、経営基盤を強化する必要がある。協同組合の強みを活かし、強い経済事業体へ改革するとともに、地域の自治組織として組合員や地域住民との暖かい結びつきを持つ組織にしていかなければならない。また、消費者・国民とともに漁業を考え、理解し合える環境を整える必要もある。

前述のように、本県では組合員の減少・高齢化等が進

◆組合員数の推移と予測◆  
(県合計)



◆販売取扱高の推移と予測◆  
(県合計)



展し、また販売取扱高の減少も著しい。国においても認定漁協制度の導入、漁協合併促進法の延長問題等の状況変化もある。漁業・漁協が今後めざすべき方向を新たに定め、組合員の総意として漁協合併を柱とした組織強化に取り組んでいかなければならない。今、系統内では、本年三月に初めての兵庫県JF大会の開催を計画しており、たくましい兵庫の漁業・漁協をめざし、将来に向けた運動方針が示される予定である。

## 「改正再編強化法」施行

「本年1月より系統金融のより一層の機能強化を図るための法律が施行されました」

- ◆ これまで、本県においても「兵庫県版実施要件」等を制定し、信漁連及び信用事業実施組合の金融機関としての機能強化及び体制整備に努めてきました。
- ◆ しかしながら、金融機関を取り巻く環境は大きく変化しており、これまでのような行政主導の業務運営から自己責任による業務運営、即ち、自立した健全経営が求められております。
- ◆ 農林中金は「改正再編強化法」が施行されることに伴い、対外的に系統信用事業の健全性を示す「JFマリンバンク基本方針」を定めたが、これにより信用事業を実施する漁協及び信漁連は自らの経営を厳しく管理するとともに、県全体で経営責任を果たす「県二信用事業責任体制」を構築することとなる。

### 「改正再編強化法」とは

(農林中央金庫及び特定農水産業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律)

漁協系統信用事業のセーフティーネットの構築と事業・組織の効率化及び健全化を図るため、平成14年6月の通常国会において成立。平成13年6月JAバンクシステムの構築のために改正された再編強化法について、漁協系統信用事業における再編(合併及び事業譲渡)強化にも活用できるよう整備されたもので、漁協系統信用事業のための農林中金による特例指導業務、基本方針の制定及び指定支援法人等が規定されました。

## JFマリンバンク基本方針

(平成十四年九月十八日農中臨時総代会決定)

### ①「JFマリンバンク」の基本的方向

組合員、漁業者に対する地域特性に応じた漁業金融を適切に実施し、組合員、利用者の信頼に応えるため、①県漁協、②統合信漁連、③再預け転貸方式等による信漁連を中心とした複数漁協体制、のいずれかにより県域で一体的に信用事業を運営する「県信用事業責任体制」を構築することにより、健全で効率的な事業運営体制を確立する。

### ②「JFマリンバンク会員」の役割等

① 農林中金の役割  
農林中金は本方針に基づき、漁協等・信漁連に対して必要な指導を行う。

本方針の適切な運営を図るため漁協等・信漁連の代表者等からなる「JFマリンバンク中央本部」を設置(平成十四年七月)し、また本方針に基づく指導業務とセーフティーネットの運営を円滑かつ適切に実施するため、農林中金水産部内に「JFマリンバンク指導統括室」を設置(平成十四年十月)。

### ② 漁協等・信漁連の役割

漁協等・信漁連は、本方針及び本方針に基づく農林中金の指導を遵守する。

信漁連は、「JFマリンバンク県本部」を設置し、管内漁協が本方針を遵守するように指導し、漁協等は信漁連の指導を遵守する。

### ③ 漁連との連携

a 農林中金は、本方針に基づく指導を適切に実施するため、全漁連と密接な連携を図る。

b 信漁連は、本方針に基づく指導を適切に実施するため、県漁連と密接な連携を図る。

c 農林中金は、漁連に対し協力依頼を行い、漁連監査結果に関する資料の提出を受ける。

※ JFマリンバンク会員とは農林中金の会員のうち信用事業を行う漁協・水加工協・信漁連及び農林中金。

### ③「JFマリンバンク会員」の責務

① 業務の健全性・適切性の確保に関する  
ルールの遵守

漁協等及び信漁連は、信用事業を行うにあたり、法律で定められたルール及び系統内で決定したルール並びに信用事業規程等諸規程を遵守し、業務の健全性と適切性の確保に努める。

### ② 破綻未然防止に関するルールの遵守

漁協等・信漁連は、本方針運営の基礎となる経営状況に関する「モニタリング資料」を農林中金に提出する。経営悪化・破綻を未然に防止するため、抽出基準(自己資本比率等)に該当する漁協等・信漁連は、その抱える問題に応じた経営改善対策を実行する。

漁協等・信漁連は、組織再編基準に該当する経営継続上の重大な問題が生じた場合、合併または信用事業譲渡を行う。

### ③ 再編・強化の支援に関するルール

漁協等・信漁連は、指定支援法人(現相互援助基金)に対して別途定める負担金割合等の基準に基づき、毎年度必要な財源拠出を行う。

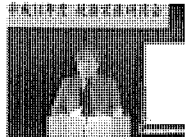
### ④ 基本方針を遵守しない会員に対する措置

JFマリンバンク全体の信頼性の確保と秩序の維持をはかるため、農林中金は、本方針を遵守しない会員に対して、遵守の勧告、ペナルティー措置の発動に関する警告を行い、なお改善が認められない場合は、指定支援法人の支援対象からの除外、JFマリンバンク会員からの除外などの具体的な措置を講じる。

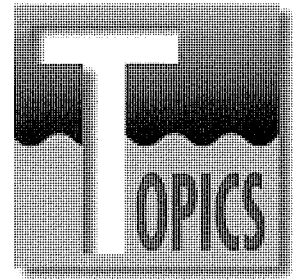




●JF兵庫漁連  
12月2日(月)  
税務実務研修会開催



●兵庫県漁業信用基金協会  
12月5日(木)・6日(金)  
平成14年度全国研修会 和歌山県



行事報告

＜地域の情報＞

～2月下旬 灘黒岩水仙郷 南淡町  
～もうすぐ500万本以上の野生の水仙が、甘い香りを漂わせはじめます～  
～1月13日(月・祝) 季節の星植物館 東浦町  
～「水惑星のミラクルクリスマス」ガラスの館の光り輝くホワイトクリスマス～

1月19日(日) かき祭り  
JF坂越「かき直売所」周辺  
2月11日(火・祝) みつ町梅まつり  
御津町 世界の梅公園  
2月10日(月)・11日(火・祝) ねり子まつり 由良



●変更のお知らせ  
先月号におきまして、第1回兵庫県JF大会開催予定のご案内をいたしました。開催日が平成15年2月から、3月上旬へ変更となりましたので、お知らせいたします。

行事予定 <変更になる場合があります>

- 1/6(月) 第4回のり入礼会 (JF兵庫漁連)
- 1/6(月) 県関係者新年交礼会 11:00～<県公館> (兵庫県)
- 1/7(火) 企画幹事会 10:00～<中会議室> (JF兵庫漁連・JF兵庫信漁連・JFぎょさい兵庫)
- 1/7(火) 専務参事会 13:30～<中会議室> (系統団体)
- 1/14(火) 祥和丸裁判 13:15～<神戸地裁> (但馬漁保)
- 1/14(火) 播磨漁友会第9回理事会 14:00～
- 1/14(火) 臨時総会 15:00～<H.オクウチ>
- 1/15(水) 第40回淡路農林水産祭 13:00～<伊弉諾神宮>
- 1/15(水) 理事会 13:30～<中会議室> (振興基金)
- 1/16(木) 第5回のり入礼会 (JF兵庫漁連)

- 1/16(木) 常任委員会 10:30～ (兵庫県)
- 1/16(木) 全国海区漁業調整委員会・連合会役員会 13:30～<虎ノ門p> (兵庫県)
- 1/16(木) 但馬海区漁調委 13:30～<但馬漁業センター> (兵庫県)
- 1/17(金) 文部科学省第8回海洋開発文化会 10:30～<虎ノ門パスタラル>
- 1/20(月)～24日(金) 会計検査院実地検査受検 (兵庫県)
- 1/21(火) 高砂市海難防止説明会 (内海漁保)
- 1/21(火) 平成14年度全国漁業信用基金協会常勤役員参事会議 13:30～<東京> (基金協会)
- 1/23(木) 瀬戸内海海区漁調委 PM～<有馬> (兵庫県)
- 1/23(木) ブロック地区漁船保険 1/24(金) 組合総務・経理事務研修会 13:30～<香川県> (内海漁保)
- 1/24(金) 理事会予定 13:00～ (JF兵庫信漁連)

- 1/27(月) 全国沿岸漁業振興開発協会あり方検討委員会予定 PM～
- 1/28(火) 第6回のり入礼会 (JF兵庫漁連)
- 1/29(水) 早川正一氏勲五等瑞宝章受章祝賀会 11:00～<神戸ポートピアH> (内海漁保)
- 1/30(木) 小型船対象漁船保険組合協議会打ち合わせ <東京> (内海漁保)
- 1/30(木) 漁港協会事務担当者協議会 1/31(金) <東京> (漁港協会)
- 1/31(金)・2/3(月) のり消費拡大キャンペーン節分祭 <神戸・明石市内幼稚園> (JF兵庫漁連)
- 1/31(金) 神戸市節分祭・淡路漁婦連料理講習 <淡路高校一宮校>
- 2/3(月) 第27回淡路のり品評会 <淡路水産センター> (淡路水交会)
- 2/8(土) 第7回のり入礼会 (JF兵庫漁連)
- 2/13(木) 漁船保険等損害審査 2/14(金) 実務研修会 <東京> (内海漁保)
- 2/20(木) 第8回のり入礼会 (JF兵庫漁連)
- ～3月 パソコン教室 <津名町パソコン教室クリック> (淡路漁青連)



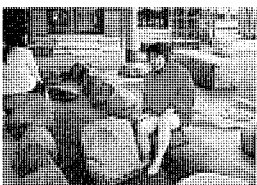
特大の津居山ガニにニコリ

から町の人が奇しくもおもしろい。荷物にならないお土産を持つ。城崎温泉の気は、アンケートもさることな。ちなみに今年の優勝者は去年と同じ方。

「お母さんお小遣いをあげてくれ!!」や去年の「結婚してくれ!!」の絶叫が、新婦さんの「結婚してくれ!!」の絶叫が、等ユークな絶叫大会に五十人が参加。勿論、参加者一同にはもれなく「津居山のセコガニ(雌)」が、優勝した人には三万円相当の「津居山ガニ」が送られました。

目抜き通りの魚屋さんモカニ色。開国式の呼び物は大声を競う「絶叫大会」。「お母さんお小遣いをあげてくれ!!」や去年の「結婚してくれ!!」の絶叫が、新婦さんの「結婚してくれ!!」の絶叫が、等ユークな絶叫大会に五十人が参加。勿論、参加者一同にはもれなく「津居山のセコガニ(雌)」が、優勝した人には三万円相当の「津居山ガニ」が送られました。

城崎温泉の冬のイベントが開幕しました。目抜き通りの魚屋さんモカニ色。開国式の呼び物は大声を競う「絶叫大会」。「お母さんお小遣いをあげてくれ!!」や去年の「結婚してくれ!!」の絶叫が、新婦さんの「結婚してくれ!!」の絶叫が、等ユークな絶叫大会に五十人が参加。勿論、参加者一同にはもれなく「津居山のセコガニ(雌)」が、優勝した人には三万円相当の「津居山ガニ」が送られました。



大人気の足湯

関西のあるアンケート調査で、「行きたい」「もう一度行きたい」「一年以内に行きたい」の三部門で、兵庫県の城崎温泉が「カニ料理」「情緒ある町並」「好きな浴衣を着ての外湯巡り」が厚い支持を受け、二年連続三冠王に輝きました。今年、年令を問わずの温泉人気。その城崎温泉の魅力にせまってきました。

今年も松葉ガニ解禁の二週間後の十一月二十三日、翌二十一日目となる「かに王国」が開国。かにの期間(十一月～翌年三月末)様々な観光事業を支える「かに王国国王」が総理大臣や大蔵大臣、うりだし大臣、ようこそ大臣、もてなし大臣等の各閣僚を任命。

城崎温泉の冬のイベントが開幕しました。目抜き通りの魚屋さんモカニ色。開国式の呼び物は大声を競う「絶叫大会」。「お母さんお小遣いをあげてくれ!!」や去年の「結婚してくれ!!」の絶叫が、新婦さんの「結婚してくれ!!」の絶叫が、等ユークな絶叫大会に五十人が参加。勿論、参加者一同にはもれなく「津居山のセコガニ(雌)」が、優勝した人には三万円相当の「津居山ガニ」が送られました。

温泉地人気2年連続3冠王  
かに王国開国 城崎温泉  
豊岡市・城崎町より



毎週日曜日 12:00～放映中

これからの放送予定 (兵庫版)

2月9日:  
武蔵とデンスケ二刀流で町おこし(仮題)

(兵庫県姫路市を中心とした西播磨灘)



かに王国・開国をレポート

坂越、赤穂、福浦の三JFが合併仮契約書調印

「JF赤穂市」誕生へ

去る平成十四年十二月七日(土)、赤穂ロイヤルホテルにおいて、赤穂市の三JF(坂越、赤穂、福浦)による合併仮契約書調印式が執り行われ、合併総会での承認を得て、本年四月二日に「赤穂市漁業協同組合」が誕生することとなった。

調印式では、JF坂越の前田組合長、JF赤穂の耳田組合長及びJF福浦の小山組合長のほか、三組合の全役員、行政及びシステム団体からの来賓など約四十名が出席し、赤穂市・北爪市長及びJF兵庫漁連・小川会長の立会のもと、契約書への署名がなされた。

赤穂地区におけるJF合併の取り



合併仮契約書調印式

組み状況としては、将来への危機感から経営基盤の強化と漁業経営の安定を図るべく、平成十三年九月に合併研究会を設置、さらには平成十四年より合併推進協議会に組織を切り替え、七回の会議を開催し、合併構想案等について協議を行った。その後、各JFの組合員集会において構想案を示し、合併仮契約締結の了承を得るに至った。

式の冒頭、三JFを代表してJF赤穂 耳田組合長が挨拶し、「合併を推進する中で、障害等もあったが、組合員の皆さんが海を愛し、漁業を愛し、更に組合員同士の絆、思いやりがすばらしい結果につながった。」と述べられた。また、調印後、立会人の北爪市長及び小川会長より祝辞があり、新しい組合への期待などが述べられた。

合併後の新組合事務所は、現在のJF赤穂を本所とし、JF坂越とJF福浦を支所とする予定で、新組合の規模としては、組合員数は百二十八名、販売取扱高は約十億円となる。今後は、四月二日の合併に向けて、月下旬に開催予定の合併総会に係る事務作業等を進めていくこととなっている。

JAグループ全国代表者集会の開催

～大詰めを迎えた米政策改革とWTO農業交渉で意思結集～

JA全中(全国農業協同組合中央会)は11月14日、東京・日比谷公会堂で米政策改革とWTO農業交渉対策の全国代表者集会を二千人規模で開催した。

大詰めを訴えるJAグループの立場を確認するとともに、国の責任のもとでの適切な計画生産と公平な過剰米対策、担い手への新たな経営所得安定対策の早急な実現などを決議した。

WTO農業交渉対策では、日本が提案する農業の多面的機能などに配慮したモダリティの確立、食料輸入国への配慮を欠く米国やケアンズグループの提案を断固拒否し、ミニマムアクセス制度の是正を含む見直しの実現を決議した。

兵庫県内のJAグループからは18名が参加し、集会に先だって地元選出国会議員への要請活動を行った。

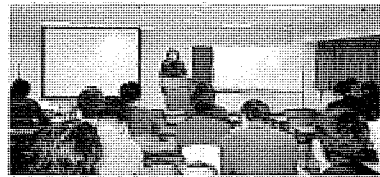


挨拶する宮田 勇 JA全中会長

保健・医療・福祉研究会“公開学習講演会”を開催

～スウェーデンの高齢者福祉の変遷と日本への提言～

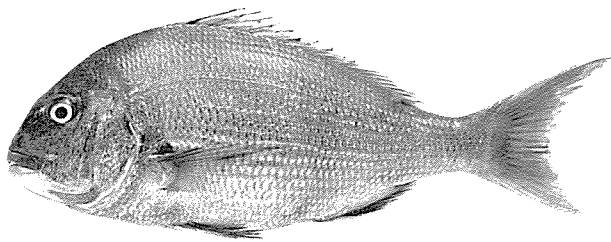
12月11日(水)午後2時から兵庫県民会館において兵協連「保健・医療・福祉研究会」主催による公開学習講演会を開催し役職員30名が参加しました。



まず、県連副会長でもあり保健・医療・福祉研究会の座長でもある中川和彦専務理事(尼崎医療生協)に開会のごあいさつをいただき、その後、神戸学院大学・非常勤講師、兵協連保健・医療・福祉研究会オブザーバーの永瀬典子さんをお招きして「スウェーデンの高齢者福祉の変遷と日本への提言」をテーマにご講演いただきました。

講演では、スウェーデンの国の概要や生活の様子をはじめ、徹底した民主主義のもとに形成されている福祉国家への取り組みや福祉サービスをめぐる法律、この10年間の移り変わりや最近の取り組みなどをお話いただきました。特に、この10年間の移り変わりでは、「長期療養住宅への対応」から、「在宅ケアの施設、初期医療との連携」とすすんでいき、最近では施設の新しい形として、「さまざまな世代の交流が図れる街のコミュニティセンター」のような大型施設への動きや、「もう一度自宅で暮らせるように」を目的としたリハビリ中心の高齢者総合住宅の取り組みなどご説明いただきました。「高齢者にとって安心した暮らしをいかに達成するか」を目的としたスウェーデンの高齢者福祉の様子を、スライドと現地で実際に見てこられた講演内容で窺い知ることができ、実り多い学習講演会となりました。

# ホトに知ってる? こっそり覚えよう! 兵庫のさかな



今月のさかな

鯛/タイ

標準和名:マダイ  
分類:スズキ目タイ科

記念すべきシリーズ二回目は、魚の王様「鯛」。そう聞いて、みなさんが今思い浮かべたのは多分、「マダイ」です。天然ものは鮮やかな桜色に透明感のある青い斑点が特徴です。棲息地域は広く、北海道南部から東シナ海、台湾あたりでも獲れますが、明石海峡や紀淡海峡付近の速い潮の流れにもまれたものは身がしまり、美味とされています。そう、兵庫が誇る「明石鯛」ですね。

瀬戸内海には桜の咲く頃来遊し、産卵します。「桜鯛」と呼ばれるのはこのためです。小魚の他、甲殻類や貝類を好んで食べるようです。体長は三年で二十五センチ、六年で四十センチほどになり、最大で一メートルぐらいまで成長します。魚の寿命は個体により成育環境が異なるため、まだまだ謎に包まれています。記録によると二十〜三十年も生きた鯛がいるとか。ちなみに、魚の年齢は木の年輪と同様にウロコ「隆起線」で判断できるそうです。

七福神である恵比寿様も抱えておられるように、古来よりおめでたい魚であり、正月の「にらみ鯛」などお祝いの席には欠かせません。早くから養殖が盛んですが、味の決め手(要するにランクです)は、与える飼料と手間。「エビで鯛を釣る」という言葉通り、エビやカニを飼料に混ぜることで、桜鯛の色や味に近づけることもできるとか。

近年は稚魚の放流やバックフィッシュなど漁業関係者の努力により、瀬戸内海にも天然の鯛が戻ってくるようになりました。ただ、養殖技術の進歩は著しく、日本人の味覚の変化もあって、天然物のあつさりした味わいよりも、脂の乗った養殖鯛を好む人も増えてきたようです。いずれにしても、腐っても鯛!“身はもちろん、出汁をとると美味な骨に至るまで、食べ尽くすことができます。

調理し(魚を見る)、食べてみるのが、魚を知るための極意かもしれませんね。

## 編/集/後/記

新年明けましておめでとうございます。  
皆様のご協力により、リニューアル第1号を発行させていただくことが出来ました。  
ありがとうございます。  
「拓水」をコミュニケーションの場にしたと考えておりますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

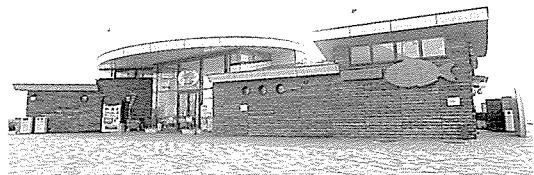
“魚”に関わる仕事をしている私たちですが、“魚”のこと、どれくらい知っているでしょうか?

兵庫県の場合、海といっても瀬戸内海と日本海では魚の種類も様々ですし、同じ魚でも呼び名や漁獲時期が異なるなど、奥が深いですね。拓水リニューアルを機に“兵庫のさかな”について“こっそり”学んでみませんか。これさえ読めば、あなたも『さかな博士』!?



西口 満佐男氏

企画にあたり、神戸市垂水区にある「神戸市立水産体験学習館/さかなの学校」所長補佐の西口満佐男様にご協力いただきました。



神戸市立水産体験学習館  
(マリニピア神戸さかなの学校)

※「さかなの学校」は「漁業を広く紹介し、漁業に対する親しみや、理解を深めてもらう」ことを目的とした施設です。『塩づくり』や『乾のりづくり(1~3月)』を体験することができます。



展示学習室

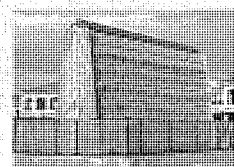
ロビー

### 施設案内

所在地:神戸市垂水区海岸通12番4号  
TEL:078-706-5550  
開館時間:10:00~17:00(入館は16:30まで)  
休館日:水曜日(国民の祝日と重なる場合は翌日)年末年始  
入館料:無料

### 体験学習内容

◆塩づくり  
◆乾のりづくり(1~3月)  
実施日:土・日曜日・祝日  
料金:1人300円(2名様以上より受付)  
※平日は10名様以上の団体のみ利用可(要予約)





# 今月のテーマ 水産会館に集らん々

シリーズ第1回目は2回目と合わせて兵庫県立水産会館を紹介します。日頃皆さんとお会いする人もいれば、縁の下の力持ちとして、コツコツと業務をこなしてくれる人もいます。もっともっと私たちの事を知ってもらいたい、ということでアンケートをしてみると、結構“意外な”趣味や性格が現れていました…



- ①山田みどり(妻)  
「強い、優しい、恐い」健康、体力、貯金全て私より優れている。
- ②ペガサス  
動物占いによるとペガサスのようです。自由が大好き、面倒くさいことが苦手、ひらめきは天才、自分の気持ちに正直、etc.
- ③天国にいちばん近い島  
子供の頃、可愛がってくれた叔母の愛読書により知った島。

JF兵庫信漁連 参事  
やまだ みねと  
**山田 峰人**

JF兵庫漁連 総務課  
うえだ かおる  
**上田 薫**



## 兵庫県立水産会館

JF兵庫漁連 電算課  
にしがみ こうさく  
**西上 幸作**



- ①浜崎あゆみ  
あゆのような目になりたいから。
- ③イタリア  
パスタを「これでもか!!」というほど食べたい。
- ④キティちゃんGoods  
10代の頃キティラーだったので数々の小物を買っていた。(現在は卒業)

JF兵庫漁連 漁政課  
すまたに みどり  
**隅谷 翠**



- ①ロッシ、マッシュズ、フリット、ベッケンパウアー、マラドーナ、ジーコにソクラテス等々! ワールドカップ開催の度に新たなヒーローが生まれ、心を熱くさせてくれる。今年はピエールルイジ・コッリナー審判かな…!
- ②ちょっと不良な働きバチ  
職場では、抜け目なくきっちり仕事をこなす頼りがいのある男である。が!!しかし一歩職場を離れると……(謎)T課長談
- ③ドイツ  
2006年ワールドカップ!!ドイツに行って日本代表を応援したいから!

JF兵庫信漁連 企画推進課  
たなか よしひと  
**田中 喜人**



- ①曹操孟徳・織田信長  
中国の三国時代と日本の戦国時代の天才武将かつ政治家。旧習にとらわれず、論理的、合理的で発想が自由でかっこいい。
- ②犬  
一杯おごってくれたら一生ついて行きます。(笑)
- ③メキシコ  
メキシコの湖でデカイバス釣りたい。
- ④バス釣り  
ロッド、リール、ルアー、アルミボード、魚群探知機…。つぎ込んだ金額はいくらだろうか? はっきり言ってプロ級です(道具はね…)

JFぎよさい兵庫 総務課  
やまだ じゅん  
**山田 純**



- ①デューク東郷(自称ゴルゴ13)  
冷静沈着。プロ。社会機構や価値観とは無縁。自己のルールに忠実に生きる。等々な所と御託を並べるより、結論はオトコマエ♡
- ②ニワトリ?  
3歩で忘れちゃうので。
- ③イースター島  
モアイ像と並んで遠くの海を眺めながら浮遊感に浸る。見えないものがみえるかも。

- ①宇多田ヒカル  
曲作りの能力もすごい、歌唱力もすごい!
- ②ド根性ガエル  
♪～根性!根性!!ド根性!!!泣いて笑ってケンカして～♪といういろいろ備わっておりますので…
- ③“北の国から”の麓郷の森  
テレビを見て是非一度足を運んでみたいと思いました。
- ④アコースティックギター  
学生時代少しかじってたぐらいで自慢できるレベルではございません。

JF兵庫信漁連 総務課  
いたくらしげはる  
**板倉 重治**



- ②たぬき  
ぼけているから(天然)。
- ③ニューカレドニア  
天国に1番近い島を見たい。
- ④肩凝り  
他人にマッサージできますが、自分自身でできないのが辛いです。



(財)兵庫県 水産振興基金  
よしわ きょうこ  
**吉和 恭子**

- ①山下 清(画家)  
あの繊細な画法が好きだから。
- ②カメ  
のんびりしているところ。
- ③日本各地を回りたい  
各地をのんびりまわって、いろいろな名所を描きたくなったから。